



2017年5月4日(木)~6日(土) 残雪の唐松岳 登頂から翌日下山

Report by Kumamoto

二日目：登山口の八方池山荘を 8:55 に出発して 5 時間 15 分かかり、14:10 唐松岳頂上山荘に到着した。

チェックイン後、荷物を部屋に置き、小休止して山頂に向かう。



ガスが張り出し、風も強くなり、気温も下がってきた。

14:27 風と寒さ対策でレインウェアを身にまとい 8 名が山頂に向けて準備。

熊本は内腿の大腿四頭筋が今にも吊りそうなため、登頂を断念した。



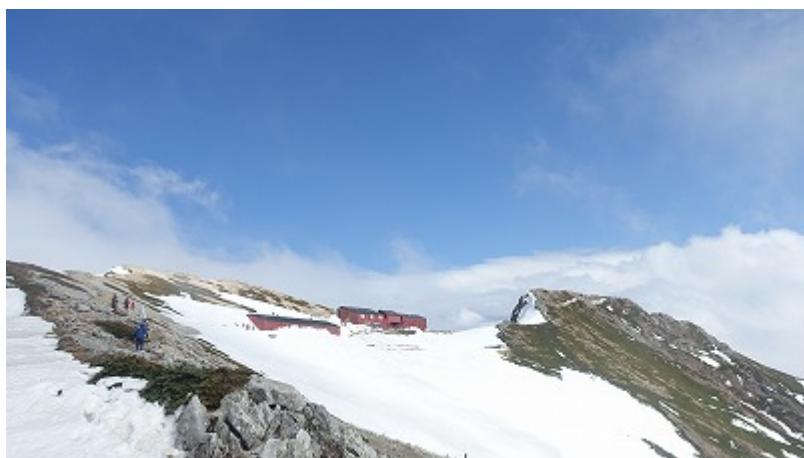
14:30 山頂に向かってスタートする。ガスを被り山頂は見えない。



山頂はもう近い。先頭は 14:45 に到着し最後尾は 14:50 に登頂した。



14:58 唐松岳山頂（2696m）で記念写真を撮る。全員大満足の笑み
山頂周辺はガスが流れ、時折切れるが、遠望は利かなかった。

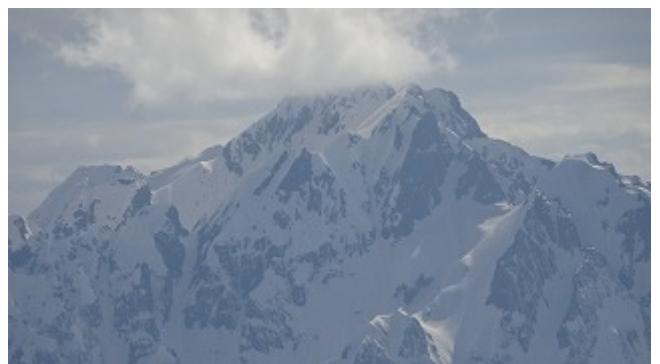


下山時に中腹から写した
唐松岳頂上山荘（15:15）

皆が山頂に向かっている時、熊本は小屋の食堂休憩室で暖を取り、缶ビールを飲みながら、
窓から正面に見える立山連峰、剣岳、唐松岳を写真に収めていた。
西唐松沢から吹き上げる濃いガスが唐松岳山頂に向かって流れしており、山頂は見えない。
しかし、立山、剣岳は時折ガスは流れるものの綺麗に姿を現し見えていた。（下写真）



山頂から下山後、雄さん、能勢さん、布目さん、中島さんは、
小屋の前で寒さに堪えながら剣岳・立山を暫く眺め写真を撮っていた。





風も冷たくなり全員食堂に集まり、夕食（16:50～）の前に缶ビールと石井さんが担ぎ上げたワインと焼酎で始まり、快晴で最高の景観を得た八方尾根雪山登山と山頂登頂達成に話に花が咲いた。



山小屋の夕食は早く 16:50 から



夕食はハンバーグ、焼き魚、がんも煮、きのこと山菜の温サラダにオレンジ等と薄味の味噌汁でした。

夕食後は部屋に上がれば寝るしかなく、まだ外は明るく日没前で、我々は食堂に残り、再び談話。





余った焼酎とコーヒーを飲みながら・・・やっぱり石井さんは?・・・(17:20)

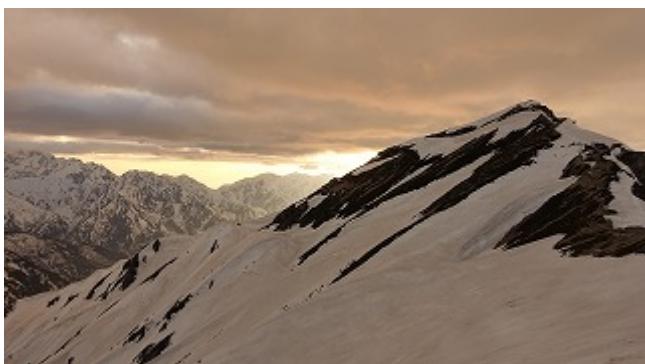


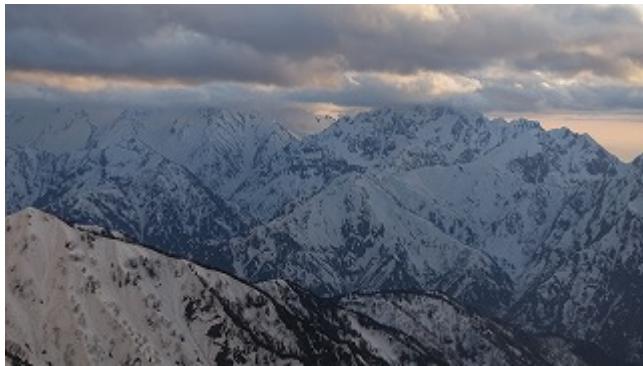
18時日没になると冷え込んで
きて、ストーブの周りに集まってきた。

この頃、寒い中、中島さんは外に出
て写真を撮りまくっていた。



芸術写真を撮るには、「寒い」など
と言ってられない・・・・





ガスが取れ、夕日に焼けた北アルプスが美しい。



中島さんは外で写真を撮るのに、スリッパで出て雪水に足を突っ込んでしまい、
靴下がビショ濡れ。ストーブにて乾かすはめに。(18:50)



消灯は 20 時だが、19:30 頃には部屋に戻り、床についた。
明日の天気予報は 9 時頃から雨とのことで早めに下山したい。

22:10 に、窓がバタバタいう強風の音で目が覚めた。
その後 1 時間おきに吹き荒れる強風で、その都度目が覚め、
明日の天候が気になり熟睡が出来なかった。

5月6日（土）：三日目の朝が明けた。



4:30に起床し、6:30には出発できるように、6:00からの朝食に備える。



5:30 風は強かったが、雨は降ってなく、青空は残っていた。



5:50 朝食が始まり、6:30に下山準備をし、玄関前に集合とした。

しかし、食事中に雨が降り始め、風も強くなってきた。

6:30 出発時間になり、風、雨とも更に強くなってきた。

時折吹く突風は風速 20m を超えているかもしれない。

他のパーティーで牛首経由し五龍岳へ、また不帰のキレットを経由し白馬岳向かうパーティー達は、危険を回避し、出発を取り止めている。

我々は、昨日登ったコースを戻るのだが、メンバーの二人が軽アイゼンのため、どうするか悩んだが、風、雨は強いが視界はあり迷うことはない、風は山頂付近のみで、丸山ケルンから下は風は弱ると読んだ。丸山ケルンまでの両側切り立った馬の背尾根を慎重に乗り切れば問題ないと判断し、石井さん、熊本が、下山の足場を小幅に確保し、その後を二人が続くようにして下山すること決心した。



7:10 丸山ケルンまでの難所を超えたホットし、下山開始後、最初の写真を撮る。(7:10)



7:27 丸山ケルンまで下った。
難所は全てクリアーした。



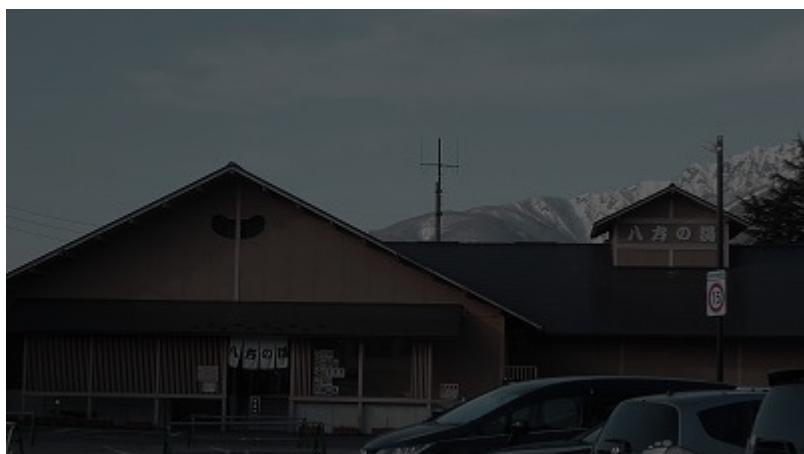
丸山ケルンから急斜面の下りを慎重に降り、第三ケルンに向かう



8:34 第三ケルンに到着した。風雨とも弱くなり、
ここから八方池山荘までは積雪のない登山度と木段であり、
もう安心である。



第三ケルンから木段を下り、二つのリフトを乗り継ぎ、ゴンドラで下山し、無事、登山口計画書を提出した出発点まで戻りホッとする。何より強風、突風の中を全員無事に下山できたことが何より嬉しい。



小雨が降る中、まるいし旅館に寄り
預けた荷物を回収し、日帰り温泉
「八方の湯」で二日間の汗を流しサ
ッパリする。
八方の湯には食事処がなく、タクシ
ーを呼び、駅前の「絵夢」(エム)
に行く。



12:00 レストラン「絵夢（エム）」にてお互いの三日間の活躍に、生ビールで乾杯！

初日の大渋滞のバス旅と豪華夕食、二日目の快晴の全景を楽しみながら八方尾根雪山登山と唐松岳登頂、
三日目の雨、突風の中の無事下山に対し、再度乾杯！！



全員、充実感に溢れ満面の笑みだ！



白馬駅で、南小谷始発のあづさ 26 号の到着を待つ。



幸いにも自由席で3ボックス固まって確保出来、白馬駅で調達したワイン2本、地酒日本酒で・・



やがて、三日間の疲れがでたのか・・・・・・全員・・・・

過去二回（2001年、2016年）唐松岳に登ったのは秋の9月で、残雪期は今回が初めてだった。
変化に富んだ冠雪の北アルプス登山に満喫した山旅であった。
何はともあれ。全員無事に下山できたことが良かった。